

報道各位



2021年12月13日  
株式会社インプレスR&D  
<https://nextpublishing.jp/>

自らの罪、そして過去と向き合うザートは真の力で戦う——第三幕、開演！

### 『法陣遣いの流離譚③ 出アルドヴィン記』

いずみノベルズ・12月の新刊

インプレスグループで電子出版事業を手がける株式会社インプレスR&Dは、いずみノベルズの新刊『法陣遣いの流離譚③ 出アルドヴィン記』（著者：空館 ソウ、イラスト：桜 みとぎ）を発行いたします。

いずみノベルズは、「小説家になろう」などのWeb小説投稿サイトに掲載された小説作品から厳選した作品を商業書籍として刊行し、より広い読者に新しい才能・作品に触れる機会を提供することを目指します。（「小説家になろう」は株式会社ヒナプロジェクトの登録商標です。）

#### 『法陣遣いの流離譚③ 出アルドヴィン記』

<https://izuminovels.jp/isbn-9784295600626>

<https://nextpublishing.jp/isbn/9784295600626>



著者：空館 ソウ

イラスト：桜 みとぎ

小売希望価格：電子書籍版 1,080円（税別）／印刷書籍版 2,000円（税別）

電子書籍版フォーマット：EPUB3

印刷書籍版仕様：四六版／カラー／本文254ページ

ISBN：9784-295-60062-6

発行：インプレスR&D

企画編集：合同会社技術の泉出版

発売日：2021年12月17日

## <<あらすじ>>

「小説家になろう」で1100万PV超の人気異世界ファンタジー最新刊！

主人公は自らの罪を乗り越えていくことができるのか——流離譚第三幕、開演！

リヴァイアサンを倒した後、ザート達はブラディア辺境伯がアルドヴィン王国から独立した事を知らされる。アルドヴィン王国はさらにホウライ皇国との同盟を解消し、皇国がバルド教から保護していたティルク人の奴隷化を認めた。

ザート達は、自らが設立するクランに皇国軍を編入し、難民となったティルク人を救出するためアルドヴィン王国に上陸する。

難民救出で訪れた港湾都市クロメ、そこはザートの生まれ故郷。今では奪われた両親の商会は、ティルク人奴隷売買に手を染めていた。

商会長トール・バルブロ、彼はザートを陥れたバルブロ商会長の次男で、ザートの妹ユノの夫。

ザートは、学院時代に背負った咎と向き合うことになるのだった。

※注:PV数は2021年12月1日現在

## <<著者から一言>>

三巻を刊行することができ、読者関係者の皆様に大変感謝しております。

本作はWeb版『法陣遣いの流離譚』四巻を改稿し、大幅に加筆したものです。

具体的には改稿分が4割、新規書き下ろしが6割です。実質一巻まるごと書き下ろしなのでは？とすら思います。

狙撃、潜入、逃亡、再会……様々なイベントが起こります。

著者的には、表紙にてようやく獣人ヒロインの耳と尻尾を拝むことが出来て感無量です！

## <<著者紹介>>

空館 ソウ

ライトノベル作家。「法陣遣いの流離譚 相続した防具は最強の法具でした」にてデビュー。小説投稿サイト「小説家になろう」「カクヨム」を主な活動場所に行っている。

## <<イラストレーター紹介>>

桜 みとぎ

モフモフをこよなく愛するイラストレーター。猫と暮らすことが夢。

## <<目次>>

第一章 クランの拠点

第二章 難民受け入れ

第三章 魔銃開発

第四章 再会

第五章 商いの終わり

書籍版特典SS

クラン設立幹部会議

## <<掲載イラストより>>



### <<いずみノベルズについて>>



『いずみノベルズ』は、NextPublishingを利用したスピーディーな刊行と電子・印刷書籍の同時制作、プリントオンデマンドによる返品・絶版・断裁のないサステイナブルな出版モデルを特徴とする、Web小説の商業化ライト文芸レーベルです。

公式サイト: <https://izuminovels.jp/>

### <<販売ストア>>

電子書籍:

Amazon Kindleストア、楽天koboイーブックストア、Apple Books、紀伊國屋書店 Kinoppy、

Google Play Store、honto電子書籍ストア、Sony Reader Store、BookLive!、BOOK☆WALKER

印刷書籍:

Amazon.co.jp、三省堂書店オンデマンド、hontoネットストア、楽天ブックス

※各ストアでの販売は準備が整いしだい開始されます。

【インプレスR&D】 <https://nextpublishing.jp/>

株式会社インプレスR&D(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:福浦 一広)は、デジタルファーストの次世代型電子出版プラットフォーム「NextPublishing」を運営する企業です。また自らも、NextPublishingを使った「インターネット白書」の出版などIT関連メディア事業を展開しています。

※NextPublishingは、インプレスR&Dが開発した電子出版プラットフォーム(またはメソッド)の名称です。電子書籍と印刷書籍の同時制作、プリント・オンデマンド(POD)による品切れ解消などの伝統的出版の課題を解決しています。これにより、伝統的出版では経済的に困難な多品種少部数の出版を可能にし、優秀な個人や組織が持つ多様な知の流通を目指しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証1部9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

**【お問い合わせ先】**

株式会社インプレスR&D NextPublishingセンター

TEL 03-6837-4820

電子メール: [np-info@impress.co.jp](mailto:np-info@impress.co.jp)